学校番号	112

平成 31 年度　福祉科

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「コミュニケーション技術」（実教出版）						
副教材等	「生活と福祉」実教出版、「今すぐ始める手話テキスト聴さんと学ぼう！」一般財団法人全日本ろうあ連盟」、その他プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年次に学んだ内容をもとに、さらに実践的な福祉に関わるコミュニケーションの知識・技術を習得します。
・施設実習を通して、子ども、高齢者、児童、障がいのある方など様々な人とふれあい、その特性の理解と個性を尊重する姿勢を養います。
・手話の基本（日常会話のコミュニケーション）的技術と聴覚障がいに関する理解を深めます。
・休日を活用して、興味・関心のある分野についてボランティア実習に参加します。
・記録・プレゼンテーションによる情報の共有化、グループ内のコミュニケーション力を養います。
・社会福祉に関する理解と関心を高め、スーパービジョンの方法を身に付けます。

2　学習の到達目標

コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得させ、介助や福祉活動で活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介助技術やコミュニケーションについて関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組み、実践的な態度を身に付けている。	基礎的な知識と技術を基に、社会福祉に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、福祉に携わるものとして適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	社会福祉の介護技術やコミュニケーションに関わる分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、福祉に関する諸活動を合理的に計画しその技術を適切に活用している。	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、社会福祉の意義や役割を理解している。
評価方法	授業での観察、 計画書・企画書、 レポート、ノート 振り返りシートの記述	授業での観察、 計画書・企画書、 レポート、振り返りシートの記述、定期考査、発表	授業での観察、 実技テスト 計画書・企画書、 レポート、ノート、 発表	授業での観察、 レポート、ノート 振り返りシートの記述、発表、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	コミュニケーション力の向上	・コミュニケーションの基本技術 ・実践を想定したコミュニケーション演習 ・様々な形態でのコミュニケーションワーク ・相手に応じたコミュニケーション（高齢者・障がい者・利用者の家族）	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:コミュニケーションについて関心をもち、その技法について習得しようとしている。 ｂ:コミュニケーションについて適切な知識と技術を基に判断し、演習やワークにおける結果を適切に活用し改善しようとしている。 c:コミュニケーションに関わる様々な技術を身につけ、実践することができる。 d:コミュニケーションについて理解し、その意義や役割りについて理解している。	授業観察 計画書 企画書 レポート 振り返りシート 定期考査 発表 実技試験
1学期	介護技術の向上	・ボディメカニクスの原理の理論と実践 ・ベッドメーキング実習 ・体位変換実習 ・高齢者の生活支援 ・障がい者の生活支援	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:介護技術について関心をもち、その技法について習得しようとしている。 b:障がいの特性を知り、個性を尊重する観点から判断し、支援に活用している。 C：介護技術に関する様々な技術を身につけ、実践する事ができる。 d: 障がいの特性を知り、個性を尊重する姿勢ができている。	授業観察 計画書 企画書 レポート 振り返りシート 定期考査 発表 実技試験

1・2学期	レクレーション計画と展開	・人々を支えるサービス ・学童期のこども ・施設実習（支援学校・高齢者施設・小学校） ・レクレーション計画と展開 ・ボランティア活動 ・チームによる連携	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:社会福祉サービスについて関心を持ち、その現状と諸課題について探求しようとしている。 b:対象者の特性を知り、また個性に合わせた対応を考え、場面に応じた判断と行動ができる。 c:対象者に応じた内容を計画し、コミュニケーションや介護技術を適切に活用している。 d:レクレーションに関する基礎的基本的な知識を基に、チーム連携を意識した計画の作成方法を理解している。	授業観察 計画書 企画書 レポート 振り返りシート 定期考査 発表 実技試験
2・3学期	手話コミュニケーション	・聴覚障がい者の世界 ・手話日常会話の基本 ・手話コーラス	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:聴覚障がいと手話について関心をもち、その世界についての現状と諸課題について探求しようとしている。 b:聴覚障がいについての知識をコミュニケーションに活用し、習得しようとしている。 c:手話コミュニケーションにに関わる様々な技術を身につけ、実践することができる。 d:手話コミュニケーションについて理解し、その意義や方法について理解している。	授業観察 計画書 企画書 レポート 振り返りシート 発表 実技試験
2・3学期	発表	発表計画 スピーチ演習 プレゼンテーション スーパービジョンの技法	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:発表やプレゼンテーション、スーパービジョンに関心を持ち、完成に向けて主体的に取り組み、実践している。 b:発表やプレゼンテーション、スーパービジョンについての知識を基に的確に判断し、表現している。 c: 発表やプレゼンテーション、スーパービジョンについての技術を身につけ、実践することができる。 d: 発表やプレゼンテーションを通し、スーパービジョンついての知識を身につけ、その意義を理解している。	授業観察 計画書 企画書 レポート 振り返りシート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。